

## 「H29小規模なリゾートホテル」の製図に関する質疑応答

### 【会員からの質問】

・質問メールをそのままを記載

設備がどうしてもわからず、試験に近いのに不安でしょうかがありません。御社の予測課題と異なる点もありますが、前回の設備質疑の解説が、とても丁寧だったので、私もわからない点を質問しました。すみませんが、ご指導頂けたらありがたいです。（よろしくお願いします。）

#### ① 受水槽について

- ・この課題では、給水方式の指定が無い場合、受水槽でなければいけないのでしょうか？
- ・受水槽の大きさは、どの程度を想定すれば良いのですか？（計算式も教えてください。）
- ・御社予測課題3では、屋外受水槽の大きさが3m×4mですが、それは何m<sup>3</sup>を想定していますか。
- ・受水槽の大きさが、屋外で3m×4mも取れない場合、例えば2m×3mではダメなののでしょうか？

#### ② 非常用自家発電機について

- ・非常用自家発電機は、必ず必要でしょうか？
- ・予測課題1と3では非常用自家発電機室、予測課題2では階段下設置ですが、何か基準があるのですか？
- ・質疑解答で屋上に設置の「キュービクル&非常用自家発電機」とあるのですが、どのような意味ですか？

#### ③ 給湯設備について

- ・某社では、マルチ給湯器でも良いと説明を受けましたが、御社ではガス炊き無圧給湯機の解説であり、マルチ給湯機の解説が無いのですが、これは望ましくないという見解でしょうか？

#### ④ 単一ダクト方式の空調機について

- ・御社では、吹抜け部分でもある程度規模が小さいと空冷ヒートポンプ方式が良いとの解説ですが、規模がある程度大きく、「単一ダクト方式の空調機」と指定があった場合、何を採用すれば良いのですか？
- ・その場合の、空調室内機室の大きさ、屋外の空調室外機の大きさは、どの程度とすれば良いのですか？

#### ⑤ 設備機械室について

- ・質疑の中で設備機械室の大きさの解説がありました。屋外キュービクル&非常用自家発電機などを採用した場合、室内の設備機械室は無くすることができますか？（床面積が苦しい場合）

### 【解答】

#### ① 受水槽について

- ・この課題では、給水方式の指定が無い場合、受水槽でなければいけないのでしょうか？

⇒受水槽指定がない場合\*\*\*が良い。

浴槽があり、\*\*\*

また、受水槽方式の場合、非常時に\*\*\*である。

本計画では、備蓄倉庫の指定が\*\*\*すると高得点につながる。

- ・受水槽の大きさは、どの程度を想定すれば良いのですか？（計算式も教えてください。）

⇒受水槽容量は、\*\*\*している。

宿泊者は、40～50人とすると、\*\*\*m<sup>3</sup> ⇒客室用

その他、\*\*\*m<sup>3</sup>/日

受水槽は、1日想定給水量の\*\*\*受水槽容量となる。

- ・御社予測課題3では、屋外受水槽の大きさが3m×4mですが、それは何m<sup>3</sup>を想定していますか。

⇒受水槽の大きさは、\*\*\*空気層なので。

予測課題3の大きさは、\*\*\*入っている。

ここは、難しく\*\*\*大きさ。

- ・受水槽の大きさが、屋外で3m×4mも取れない場合、例えば2m×3mではダメなののでしょうか？

⇒屋外スペース\*\*\*とか大丈夫。

この場合、受水槽には、\*\*\*審査委員へPR)。

## ② 非常用自家発電機について

・非常用自家発電機は、必ず必要でしょうか？

⇒床面積が2,100㎡以上なら、\*\*\*。  
これ以下の面積なら、\*\*\*より)。

・予測課題1と3では非常用自家発電機室、予測課題2では階段下設置ですが、何か基準があるのですか？

⇒火災時の延焼防止の観点\*\*\*。  
従って、単独区画であれば、\*\*\*でも良い。

・質疑解答で屋上に設置の「キュービクル&非常用自家発電機」とあるのですが、どのような意味ですか？

⇒コンパクト化のため\*\*\*。

## ③ 給湯設備について

・某社では、マルチ給湯器でも良いと説明を受けましたが、御社ではガス炊き無圧給湯機の解説であり、マルチ給湯機の解説が無いのですが、これは望ましくないという見解でしょうか？

⇒研究会の推奨は、\*\*\*である。  
マルチ給湯器\*\*\*可能性が高い。  
実際、\*\*\*いる事例もある。  
ただし、一般の\*\*\*減点対象となる可能性がある。

## ④ 単一ダクト方式の空調機について

・御社では、吹抜け部分でもある程度規模が小さいと空冷ヒートポンプ方式で良いとの解説ですが、規模がある程度大きく、「単一ダクト方式の空調機」と指定があった場合、何を採用すれば良いですか？

⇒規模が大きい吹抜けや大空間の単一ダクト方式は、\*\*\*。  
規模の大きい単一ダクト方式なら、\*\*\*できる。  
概ね、1台の\*\*\*空調が可能である。

・その場合の、空調室内機室の大きさ、屋外の空調室外機の大きさは、どの程度とすれば良いですか？

⇒屋内室内機室(床置型)は\*\*\*、屋外機の空冷ヒートポンプチラーの大きさ\*\*\*。

## ⑤ 設備機械室について

・質疑の中で設備機械室の大きさの解説がありました。屋外キュービクル&非常用自家発電機などを採用した場合、室内の設備機械室は無くすることができますか？(床面積が苦しい場合)

⇒最悪の非常時として、設備機械室は、\*\*\*。  
空調設備は、\*\*\*にすると機械室不要。  
受水槽は、\*\*\*で室内設置不要。  
給湯設備は、\*\*\*と不要(循環ろ過室のみ必要)。  
電気設備は、\*\*\*にて不要。  
つまり、最大、\*\*\*が、これは、試験なので\*\*\*へ分かるように理由を書く必要がある。